



箕面市独自の生徒指導専任教員の配置体制の成果について

～学習環境の向上に寄与・不登校生徒数はピーク時から半減～

平成 21 年（2009 年）11 月 9 日

箕面市の小中学校では、平成 17 年度から、生徒指導専任教員（授業を一切受け持たず生徒指導に専従する担当教員）を配置しています。

これは、市が経費の全額を負担する授業支援教員を独自に追加配置することで実現している仕組みです。

この結果、安定した学習環境の確保に大きな役割を果たすとともに、不登校生徒数が国・府平均と比べ大幅に減少し、ピーク時から半減していることが分かりました。

箕面市では、小中学校の生徒指導の一層の推進・充実を図るため、平成 17 年度から、授業を一切受け持たず生徒指導に専従する担当教員を各校に配置する体制を構築してきました。

これは、箕面市独自の授業支援教員（「生徒指導担当者授業支援員」）を全額市の負担により小中学校に追加配置し、教科を受け持たせることにより、生徒指導に専従する担当教員を捻出しているものです。

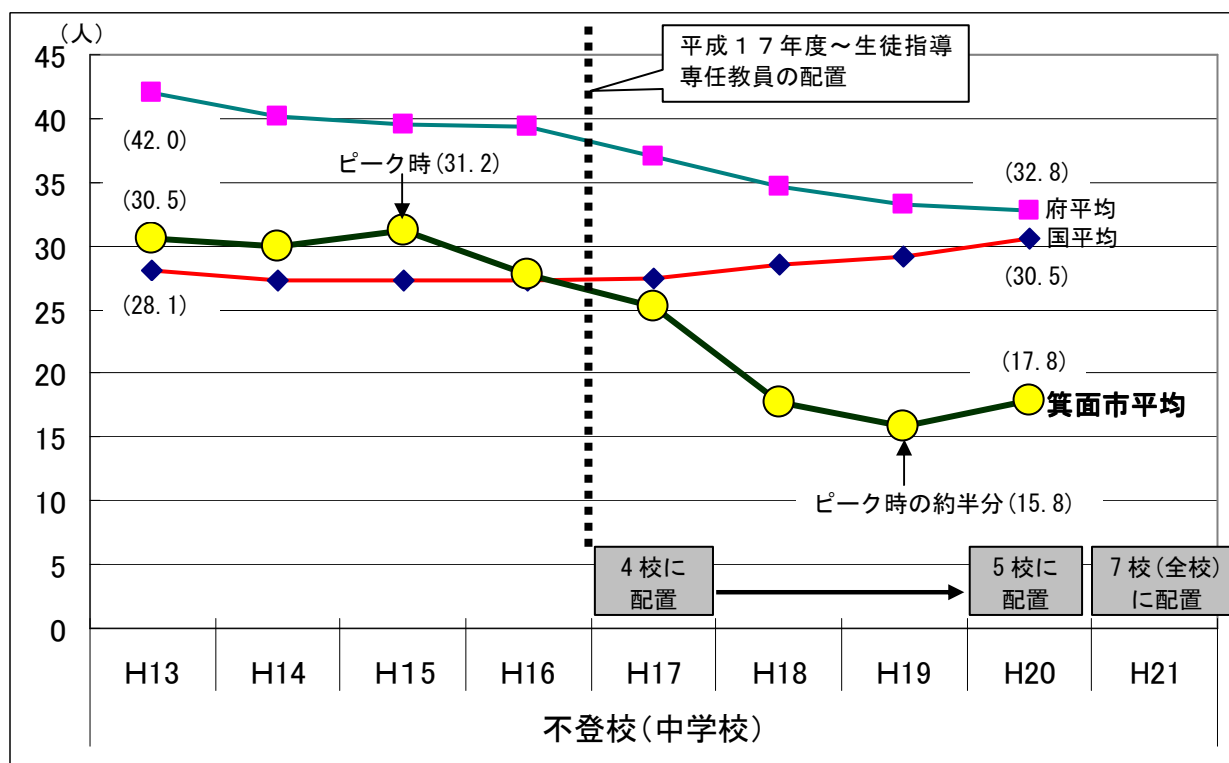
今回、不登校生徒数の推移を検証した結果、不登校生徒数が国・府平均と比べ大幅に減少し、ピーク時から半減する効果が出ていることが分かりました。

1 実績

○不登校生徒数は、国・府平均とも横ばい傾向ですが、平成 17 年度以降、本市においてのみ大幅に減少するという有意な変化が見られます。

○直近 3 年間では、国・府平均の約 1/2 の割合で推移しています。

〔生徒 1,000 人当たりの不登校生徒数の推移（中学校）〕



2 生徒指導専任教員の配置体制について

①経過

○平成17年3月の市議会において、市は少人数学級の予算を提案したが、市議会から「学校現場の声をしっかりと受け止め、よりよい学習環境の向上のためには、(少人数学級よりも)生徒指導専任教員の配置体制の方が望ましい」として、市議会側から予算を修正して成立。

②概要

○授業支援教員を全額市の負担により小中学校に追加配置し、教科を受け持たせることにより、生徒指導専任教員を生徒指導に専従させる。

③生徒指導専任教員の活動

- いじめ・不登校や様々な問題行動など生徒指導上の課題を明らかにし、早期・適切・的確に対応する。
- 担任・学年教員と連携して、チームで対応する時のコーディネーターとなり、幅広くかつきめ細かな対応を行う。
- 関係諸機関(警察、子ども家庭センターなど)、家庭、地域との緊密な連携を図る。

④配置校

中学校：7校(全校) 小学校：児童数600名以上の6校(13校中)

年 度	配置校		予算額 (箕面市単独負担)
	中学校	小学校	
平成17年度	4校	4校	25,833千円
平成18年度	4校	4校	25,833千円
平成19年度	4校	5校	29,189千円
平成20年度	5校	5校	30,971千円
平成21年度	7校	6校	40,452千円

⑤配置の効果

学力向上の前提となる安定した学習環境の確保に大きな役割を果たしています。

○子どもに変化あり

授業中、朝の時間(登校指導など)、休み時間など子どもたちの様子を見ることで、登校をしぶりがちな子どもや課題を有する子どもに、早期に対応したことで、子どもの生活リズムが好転し、遅刻や欠席が減少した。

○学校に変化あり

校区の小・中学校が連携を進めることで、支援が必要な子どもの対応を教職員が情報共有でき、子どもが円滑な学校生活を送れるようになった。

○家庭に変化あり

担任とともに家庭訪問することで、保護者の思いを受け止め、保護者自身が学校の対応に今まで以上に安心感を持たれてきた。

問い合わせ先
学校教育課
TEL 072-724-6761(直通)

最近の不登校児童生徒数の推移 (国・府・箕面市の比較)

(人)

中学校	不登校生徒数 (中学校)							
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
全国 (千人率)	28.1	27.3	27.3	27.3	27.5	28.6	29.1	30.5
大阪府 (千人率)	42	40.2	39.5	39.3	37	34.7	33.2	32.8
箕面市 (千人率)	30.5	30	31.2	27.8	25.3	17.7	15.8	17.8

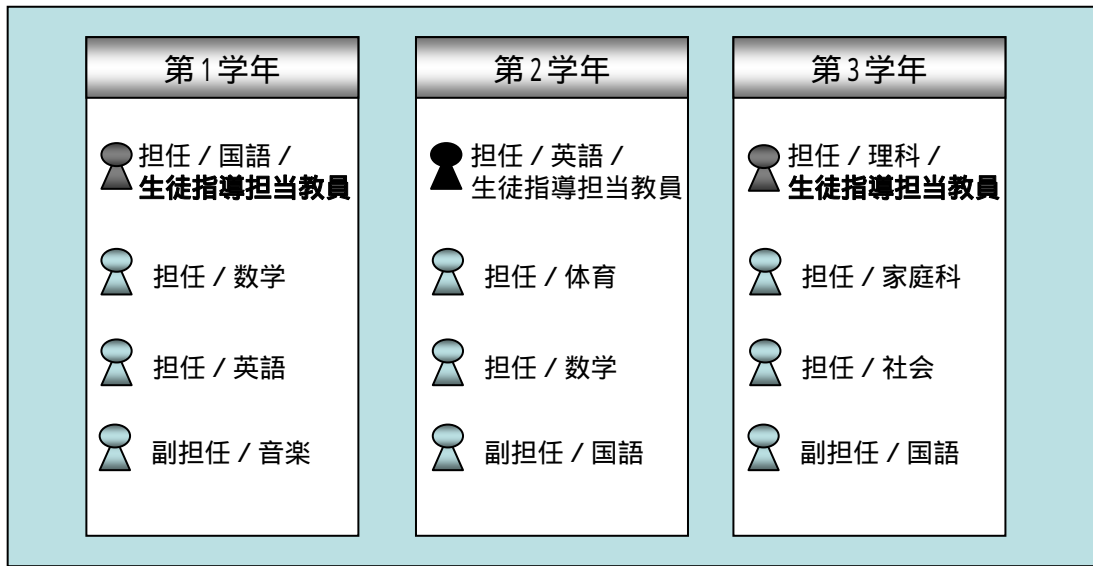
(人)

小学校	不登校児童数 (小学校)							
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
全国 (千人率)	3.6	3.6	3.3	3.2	3.2	3.3	3.4	3.0
大阪府 (千人率)	3.8	4.1	3.8	4.0	3.7	3.3	3.2	3.0
箕面市 (千人率)	3.7	3.8	3.6	2.9	3.0	2.4	2.6	2.8

※千人率…生徒児童1,000人当たりの不登校生徒児童数

一般的な中学校

生徒指導担当教員は、授業を受け持つかわら、各学年生徒指導担当教員との連携、指示、関係機関や保護者との連絡調整などをおこなっている。



箕面市の中学校

生徒指導専任教員は、授業を受け持たず、各学年生徒指導担当教員との連携、指示、関係機関や保護者との連絡調整に専従している。

